

令和3年度

第4期朝霞市地域福祉活動計画


進行管理・評価シート

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会


基本目標	施策の方向性	事業名	担当課	頁	進捗状況				
1 市民の暮らしを支える仕組みづくり					R3	R4	R5	R6	R7
(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり	①	関係機関との連携			A				
	②	身近な福祉圏域の検討			B				
	③	CSWの配置			B				
(2)相談支援体制の充実	①	特別な配慮が必要な子どもへの相談・支援			B				
	②	身近な総合相談支援の充実			A				
	③	ボランティア活動の相談・コーディネート			A				
	④	身近なボランティアの相談窓口の充実			A				
(3)保健医療・社会福祉サービスの充実	①	機関連携研修会			A				
	②	障害のある人の就労支援			A				
	③	社会福祉法人の連絡会議			B				
(4)権利擁護の推進	①	成年後見制度の理解・普及			A				
	②	虐待防止対策			A				
	③	あんしんサポートねっと			A				
(5)生活困窮者等への支援の充実	①	生活再建のための相談支援			A				
	②	子どもの貧困対策に関わる団体への支援			B				
(6)地域住民の交流の促進	①	地域住民の交流の機会の提供			B				
	②	地域住民の交流の活性化			B				
	③	外国人への支援			A				

※   部分は、重点的評価施策

基本目標	施策の方向性	事業名	担当課	頁	進捗状況				
2 思いやりと支え合いの心づくり					R3	R4	R5	R6	R7
(7)地域福祉に関する理解と参加の促進	①	ボランティア・実習生の受け入れ			A				
	②	出前講座の実施			A				
	③	ボランティア講座の開催			A				
	④	手話体験・要約筆記体験の実施			B				
	⑤	地域福祉財源の確保			B				
	⑥	あいはあと事業			A				
(8)支え合い・助け合いの気持ちの醸成	①	教職員対象の研修会の実施			A				
	②	他機関と連携した福祉教育の実施			A				
(9)地域での見守りの充実	①	住民参加による見守り事業の推進			B				
(10)情報共有・発信の充実	①	分かりやすい福祉情報の提供			B				
	②	メディア戦略の強化			A				
(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成	①	福祉活動団体に対する活動支援			A				
	②	手話講習会の実施			A				
	③	老人クラブに対する活動支援			B				
	④	ボランティア講座の開催(再掲)			A				
	⑤	地域活動団体間の交流事業			B				

※  部分は、重点的評価施策

基本目標	施策の方向性	事業名	担当課	頁	進捗状況				
3 安心して暮らしやすい地域づくり					R3	R4	R5	R6	R7
(12)施設等の整備・充実	①	地域の人が集える拠点づくり			A				
	②	施設の点検・修繕			A				
(13)防災対策の充実	①	災害ボランティア講座			B				
	②	災害ボランティアセンター設置訓練の実施			B				
	③	防災訓練の実施			A				
	④	小地域福祉活動における防災事業の相談支援			A				
(14)防犯対策の充実	①	子どもへの防犯教室の実施			B				
	②	住民の防犯への意識の啓発			B				
(15)外出・移動の支援	①	障害のある人や高齢者の外出支援			A				
	②	車いすの貸出し			A				
(16)住まいの確保等への支援	①	生活困窮者等への支援			A				
(17)再犯防止の推進(再犯防止推進計画)	①								

※  部分は、重点的評価施策

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	①関係機関との連携				
	事業の概要	高齢者・障害者・子育て支援等、様々な関係者との会議や情報交換等を通じて連携を深めてきました。今後、さらに「連携・協働の場」としての役割を十分に発揮し、地域住民や地域の様々な関係者・地域団体の参加と協働をもとに、地域の生活課題(ニーズ)について解決できる仕組みをつくっていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	・社協理事会(2)評議員会(1)・地域ケア会議出席(24)・生活支援コーディネーター会議(12)・第一生命㈱ボランティア協定締結(1) ・校長会議・教頭会議(1)・精神保健福祉担当者会議(2)・民協会長会(1)・朝霞市西部地区民生委員児童委員協議会(1) ・進路連絡協議会(和光南特別支援学校)(1)・南西部地域就労支援センター等情報交流会(1)・特定相談支援事業所連絡会(1) ・朝霞市障害者プラン推進委員会(3)・朝霞市障害者自立支援協議会(7) ・あんしんサポートねっと担当者四市ブロック会(1)・児童館運営協議会(1)・要保護児童対策協議会(4) ・子ども・子育て支援事業計画(3)・包括支援センター運営協議会(2)・地域密着型運営委員会(2)・第2層協議体会議(1) ・朝霞市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進会議(4)・特定相談支援事業所連絡会(4) ・埼玉県障害者就労支援センター等連絡協議会ブロック会(1)・四市内福祉施設医療職ネットワーク会議(1) 関係機関との会議に出席し、情報交換を行った。 福祉団体・企業との話し合いの場を設け、地域活動への参加や、現状や抱えている課題について意見交換を行った。また、総合的かつ効果的にサービスが提供されるよう、多様な関係者(保健・医療・福祉・教育等)と連携を図った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
各関係機関や各事業に関わる情報交換	目標値	80件	80件	90件	90件	100件
	実績値	82件				
進捗状況及び自己評価	会議の主催及び出席により、関係機関との情報共有や連携を図ることができた。 直接的な利用者への支援を行う部署では、利用者のニーズの解決に向けて、関係機関との連携・協働を図ることができた。 地域の福祉団体やボランティア団体との連携については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、活動を休止している団体もあり、情報共有等が滞っている。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	市民による地域活動との連携や情報共有が滞っている。
今後の取り組み方針	・新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら、地域福祉活動団体との連携や情報共有に努める。 ・市民や地域の生活課題を解決するために、各関係機関との継続的な連携体制を維持する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生活課題について考える。</li> <li>・地域にある福祉機関について情報収集する。</li> </ul>
---

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談をした際に、相談先にたどり着くまで時間が掛かったが、相談してからの事業所同士の連携が取れていて、早期解決した経験がある。</li> <li>・民生委員を活用していただいて、問題によっては関連機関につなげる。</li> <li>・相談体制の中でうまく連携しサポートできる仕掛けがあると良いと感じる。</li> </ul>
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	②身近な福祉圏域の検討				
	事業の概要	第3期活動計画では、地域包括支援センターの圏域に合わせ地区活動を行ってきましたが、住民が身近に感じる福祉圏域について見直し・検討していく必要があることを認識しました。地域での福祉活動を、市民や関係団体と共に進めてきた従来のエリア(福祉圏域)を参考にしつつ、市内の他分野の圏域について情報を収集し、地域住民が身近に感じ、参加しやすい新たな福祉圏域を検討・研究していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	第4期計画の策定段階で、社協が指定管理者として運営している6つの児童館を足がかりに、地域の生活課題の把握や解決に取り組むため、朝霞市内を6つのエリア(地区)に再編した。 令和3年度は、地区の実情を把握するために、第3期計画で作成した地域アセスメントシートの書式・記載項目の再検討を行ったほか、住民参加型在宅福祉サービス(あいはあと事業)の協力会員・利用会員の地域ごとの登録分布表を作成し、実態を把握した。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
身近な福祉圏域の検討	目標値	調査・研究			1回	2回
	実績値	2回				
進捗状況及び自己評価	本会では第3期活動計画終了時に圏域の検討を行い、第4期活動計画開始に合わせ圏域の変更を実施した。新型コロナウイルス感染症への対応により、市民による地域での福祉活動や地区ごとの生活課題等の情報収集が順調に進んでいない。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	地域住民の生活に即した福祉圏域を検討・研究するための情報収集や調査が滞っている。
今後の取り組み方針	地区ごとのアセスメントシートの作成や地域福祉活動の実情調査を実施し、住民にとって身近な福祉圏域の研究を行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域での生活課題や地域福祉活動等の情報を社協に提供する。
------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉圏域をどのように分けているのか、住民に分かりやすく説明してもらえると理解しやすい。</li> <li>住民にとってなじみやすい圏域分けが大事なので、考慮して進めてほしい。</li> </ul>
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(1)地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり				
	事業名	③コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置				
	事業の概要	地域において、ちょっとした困りごとから生活上の課題を抱える個人や世帯等、様々な地域課題が存在し、社協は地域住民と共に課題解決に向けて取り組んでいます。しかし、困りごとがあっても自ら相談できないなど、福祉課題を抱えている人が増えてきています。そのような人たちが地域で孤立しないように、身近な生活課題を見つけ(気づく)、近隣住民や生活支援コーディネーターなどの関係者、関係機関等との連絡調整をしながら(つなぐ)、地域で支え合う仕組みを一緒に考え(つくる)、地域の多様な生活課題の解決に向けて取り組んでいけるようCSWの配置に向けて検討していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	住民参加型在宅福祉サービス(あいはあと事業)での活動者、利用者の地域分布など支援事例に関する情報を集約し、地域の状況把握を行った。また、日々の業務で関わる支援ケースを集約し、事例の積み上げを実施した。この他、地域ケア会議や生活支援コーディネーター会議に出席し、各関係機関との情報交換を行った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
CSWの検討	目標値	調査・検討				設置
	実績値	2回				
進捗状況及び自己評価	ソーシャルワークの実践に向けて必要となる関連する業務事例の積み上げを行った。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSWを担う人材の育成が必要である。</li> <li>本会におけるCSWの役割や配置イメージが固まっていない。</li> <li>新型コロナウイルス感染症への対策により、地域の生活課題等の情報収集が滞っている。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSWの業務や地域において個別支援を担う専門職としての役割、位置づけを明確化し、配置に向けて検討を行う。</li> <li>CSW配置に向けた人材育成や、地域の生活課題等の情報収集に努める。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域の困りごとに関心し、その情報を共有する。</li> <li>地域の福祉活動に参加する。</li> </ul>
--

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>相談に至っていない生活困窮家庭が潜在的にたくさんあることを見聞きしている。まだまだたくさんのニーズがあるんだろうと思う。</li> <li>気軽に相談できる相談窓口があると良いと思う。</li> </ul>
--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	高齢者・児童福祉課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	①特別な配慮が必要な子どもへの相談・支援				
	事業の概要	社協が運営する児童を対象とした施設において、児童がいつもと違う様子であれば専門機関へ相談するなど、他機関と連携を図っています。一人で悩まないように相談ができる場があることを広く周知し、多様な相談に対応できるように関係機関との連携をさらに深めていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館にて、不登校児の見守り支援を行った。(3)</li> <li>・放課後児童クラブにて、児童の相談支援を行った。(37)</li> <li>・放課後児童クラブにて、関係機関の会議や専門機関への情報提供等を行った。(3)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
相談支援件数	目標値	45件	45件	45件	50件	50件
	実績値	43件				
進捗状況及び自己評価	社協が運営する児童を対象として施設にて、障害児の他に気になる児童や家庭環境等が複雑な児童に対して、保護者・学校・行政等と連携を図りながら、相談支援を行った。また、専門機関等との連携に努めた。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	専門的な支援、また児童の権利擁護への配慮等が必要なケースもあり、施設だけでは解決できない場合がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が安全・安心に暮らせるよう、日頃から保護者・学校・行政との連携を図る。専門的な支援が必要な場合は関係機関につなげていく。</li> <li>・相談支援や権利擁護等の研修により、職員の支援技術の向上に努める。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

困りごとがあれば利用している施設や市・社協に設置されている窓口相談する。
--------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら相談できない児童に対してのケアがまだできていない状況だと思う。</li> <li>・子どもたちは家庭環境が他と比較できなく、問題を自覚していないケースがあるため、学校や地域全体が理解し、周りから手を差し伸べられる環境になると良いと思う。</li> <li>・医療ケア児の問題も今後相談の中に多く入ってくるのではないかと感じる。</li> <li>・各事業の支援は、個人単位ではなく家庭単位で考える必要があるのではないかと感じる。</li> </ul>
---



## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	②身近な総合相談支援の充実				
	事業の概要	平成29(2017)年度から総合相談の窓口を設置し、住民の困りごとを幅広く受ける体制を整えました。日常生活の中で住民が感じる不安や困りごとに対し、誰もが気軽に利用できる総合相談窓口を目標に、様々なニーズに応えるため児童・高齢・障害等の各専門機関と連携し、総合相談の充実を図ります。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	ワンストップで対応できる相談窓口として、福祉に関するあらゆる相談(高齢者関係、障害者関係、就労、ひきこもり、生活困窮、権利擁護等)に対応し、困りごとに耳を傾け、見立てをたて、専門的な支援(市役所、包括支援センター、NPO法人、埼玉弁護士会・司法書士会、消費生活センター、法テラス、がん相談支援センター、住民参加型在宅福祉サービス等)につなげた。また、生活困窮者に対し、食料支援を行った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
総合相談件数	目標値	20件	20件	25件	25件	30件
	実績値	30件				
進捗状況及び自己評価	昨年度よりも多くの方から相談があり、それぞれの困りごとに耳を傾け、適切な支援につなぐことができた。また、「朝霞社協まるわかり帳」に案内を掲載する等、周知に努めた。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	市民や関係機関に、社協の総合相談窓口の存在をより広く周知する必要がある。
今後の取り組み方針	広報紙「社協あさか」やSNS、ホームページ等を活用して、総合相談窓口の周知・啓発を行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近に困りごとを抱えている人がいたら、社協の総合相談窓口を紹介する。
------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談窓口の1本化が実現すると助かる。また、気軽に相談できる相談窓口があると良いと思う。</li> <li>・相談体制の中でうまく連携しサポートできる仕掛けがあると良いと感じる。</li> <li>・どういことを相談出来るかわかれば、相談しやすいと思う。具体的な内容を発信すると、声をあげる人が増えるのではないかな。</li> <li>・相談を躊躇する人をどうするかという問題があり、相談しやすいと感じてもらえることが大事だと思う。</li> <li>・問題の背景を考え、総合的に解決していかなくては行けないと感じる。</li> </ul>
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	③ボランティア活動の相談・コーディネート				
	事業の概要	ボランティアコーディネーターは、市内の福祉施設や活動団体、関係団体等のボランティアに関する情報を集約し、ボランティアをやりたい人とボランティアに来てほしい人をコーディネートします。また、ボランティア募集やボランティア団体の活動状況等をボランティアニュース・広報紙「社協あさか」・SNS等で発信し、ボランティア情報を必要としている人へ届けるとともに、ボランティアに参加する人が増えるように努めます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動をしたいという市民やボランティアに来てほしいという施設等からの相談を受け、必要な情報提供やコーディネートを行った。(延べ106件)</li> <li>・誰もが気軽にボランティア活動に参加できるきっかけづくりのための事業(彩の国ボランティア体験プログラム)の活動調整を行った。</li> <li>・彩の国体験プログラム等をきっかけに、関わりのできた施設等とつながりを継続できるよう、ボランティアの情報を聞いたり、ボランティア活動希望者に情報提供を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ボランティア相談件数	目標値	80件	80件	90件	90件	100件
	実績値	106件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア登録をした市民に、ボランティアニュースの送付や、ボランティア情報のメール配信を行い、継続的に関わることができた。</li> <li>・彩の国ボランティア体験プログラムの実施にあたっては、参加者にも感染症対策として体調管理を行ってもらった。コロナ禍においても参加者が多かった。</li> <li>・関わりのできた施設等とつながりを継続し、社協がボランティアのコーディネートを行っていることを周知することができた。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	・コロナ禍でボランティア活動を控えている市民や受け入れを止めている施設が増えている。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも感染症対策をしっかり行ってできるボランティア活動を模索していく。</li> <li>・ボランティア登録者等とつながりをたやさないよう、情報発信を継続する。</li> <li>・関わりのできた施設等とつながりを継続していく。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動に興味があったら、ボランティアセンターに連絡をする。</li> <li>・ボランティアを必要としている人や団体もボランティアセンターに相談する。</li> </ul>
---

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で施設のボランティア受け入れを中止しているが、施設に入居されている方は施設内だけの生活になりがちなので、精神衛生上のことを考え、受け入れについて検討していきたいと感じた。</li> </ul>
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(2)相談支援体制の充実				
	事業名	④身近なボランティアの相談窓口の充実				
	事業の概要	ボランティアセンターは、「地域に開かれた社協のフロント(窓口)」としての機能を有するため、ボランティアに関する相談や情報掲示ができるスペースを確保し、ボランティアセンター窓口の機能充実を図ります。また、ボランティアセンターまで来所することが難しい人へ向けて、市内の公共施設、スーパーやドラッグストア等に出張ボランティアセンターの開設を働きかけ、ボランティア相談スペースの確保を図ることで相談窓口の拡充を検討していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックパラリンピック ボランティア交流会にてボランティアセンターのブース開設をした。(5)</li> <li>・出前講座「ボランティアについて」を実施。(1)</li> <li>・ボランティア団体が使いやすいように、団体利用室のレイアウト変更を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出張ボランティア相談実施回数	目標値	2件	2件	2件	3件	3件
	実績値	6件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックパラリンピック ボランティア交流会にてボランティアセンターのブース開設したことで、幅広い年齢層のボランティアにボランティアセンターの情報を伝えることができた。</li> <li>・ボランティアセンター窓口の機能の充実を図るため、ボランティアに関する相談や情報掲示、ボランティア団体等が集える場として活用できるよう、団体利用室のレイアウト変更を行った。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアセンターの場所を知らない人が多く、ボランティアセンターまで来所することが困難な人もいる。</li> <li>・団体利用室を利用するボランティア団体が少ない。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアセンターまで来所することが難しい人や、身近な場所でボランティア相談ができるよう、市内の公共施設等で、出張ボランティアセンターとして、ボランティア相談を行えるかどうかの検討を行う。</li> <li>・団体利用室を利用する団体が増えるよう、活用方法を具体的に検討し、周知する。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

ボランティア相談窓口として、市民が利用しやすい場所について情報を提供する。
---------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(3)保健医療・社会福祉サービスの充実				
	事業名	①機関連携研修会				
	事業の概要	保険医療と介護及び障害者支援の専門機関同士は、カンファレンス等を通じて個別に連携が図られていますが、地域住民の複雑化・複合化した課題に対応するためには制度によらない支援体制の一層の充実が求められています。このことから、保健医療、介護、障害者支援及びその他の社会福祉の推進に係る機関等の参加により、それぞれの活動内容や機能を十分に理解し、連携の質の向上を図ることを目的とした研修会を実施していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「支援者のための障害年金勉強会」を開催した。</li> <li>・「障害のある方の親なきあとにむけて講座Part2」を開催した。</li> <li>・「大人の発達障害の理解と対応研修会」を開催した。</li> </ul> はあとびあ相談支援センターとはあとびあ障害者就労支援センターで合同開催し、近隣の就労系障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等の関係機関が参加した。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
機関連携研修会の実施	目標値	調査・検討		1回	1回	1回
	実績値	3回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はあとびあ相談支援センターとはあとびあ障害者就労支援センターで合同開催することで、より多くの関係機関が参加し、連携及び資質向上が図れる関係づくりができた。</li> <li>・マスクの着用・来所時の検温・手指消毒・参加者間の距離確保・十分な換気、など感染予防策を徹底した上で、無事に開催することができた。</li> <li>・感染リスクを避けるために来所を控えたい参加希望者のため、当日の様子を録画して後日YouTubeで配信することで、できるだけ多くの方が参加できるよう努めた。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	長年に渡っているコロナ禍において、中止や延期の選択だけでなく、安全を確保し、そして参加者の理解を得ながら、多くの関係機関が参加できる研修会をどのように企画していくか工夫が必要である。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数制限等の感染防止策を講じた研修会を企画し、開催していく。</li> <li>・会場に来ずとも参加できるよう、これまでも行ってきたYouTube配信の他、オンラインでの研修も視野に入れて、多くの関係機関が参加できる研修会の開催を検討する。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

利用者へ提供できる支援体制を整えるために、関係機関がお互いの業務内容について情報を共有する。
--

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(3)保健医療・社会福祉サービスの充実				
	事業名	②障害のある人の就労支援				
	事業の概要	障害のある人の働きたいという気持ちを尊重し、相談や現場同行を通じて、その人の能力が発揮できる就労につながるよう支援を行います。一方、障害のある人を雇用する事業所については、一緒に働くにあたっての相談や助言を行い、障害がある人の働きやすい環境を整える支援が必要です。そのため、障害者就労支援センターでは、埼玉県障害者雇用サポートセンター、ハローワークと連携して障害のある人をサポートすることにより、地域で生活し、就労を通じて社会参加ができるよう、地域住民や事業所等に障害についての理解を深めていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業からの雇用相談(165件)</li> <li>・SNS、広報への関連記事の掲載(26件)</li> <li>・関係機関への障害者就労支援センターのサービス説明(2件)</li> </ul> 障害のある人が就労につながるよう支援を行いました。また、市内企業からの雇用相談やSNS・広報紙の活用、関係機関へのセンターのサービス説明等を通じて、市内の企業・市民に広く就労支援センター啓発の働きかけを行いました。					
指標名		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
啓発・働きかけ	目標値	180件	180件	185件	185件	190件
	実績値	193件				
進捗状況及び自己評価	障害のある人の働きたいという気持ちに寄り添い、雇用したい企業へつなげ、働きやすい環境を整える支援を行った。また、ツイッターや広報紙を積極的に活用し、就労支援センター啓発の働きかけを行い、障害のある人が「働く」ことについての理解を深めることができた。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	企業や市民に向けて、障害雇用や一般就労についての普及啓発と障害のある人(表面的にわかりづらい障害等)の障害特性への理解を深めるための働きかけが必要である。
今後の取り組み方針	市内企業や就労継続支援B型事業所等の利用者・保護者・職員を対象に、障害雇用や一般就労に関する普及啓発活動を行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

自分に合った福祉サービスを選べるように情報を収集する。
-----------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(3)保健医療・社会福祉サービスの充実				
	事業名	③社会福祉法人の連絡会議				
	事業の概要	長年、市内の社会福祉法人等の障害者福祉施設との横のつながりを強めていくために、「はあとねっと会議」や四市福祉施設看護師の「医療職ネットワーク会議」等を開催しています。今後、さらに市内の社会福祉法人に働きかけ、お互いに顔が見える関係を築き、協働・連携しながら積極的な地域福祉活動の取り組みを推進するため「社会福祉法人の連絡会議」を立ち上げ、地域福祉活動を支えるための仕組みづくりを進めていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	他市での社会福祉法人の連携についての情報収集を行った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
社会福祉法人の連絡会議	目標値	調査・検討		検討・準備	1回	1回
	実績値	1回				
進捗状況及び自己評価	埼玉県社協が主催する会議にて、社会福祉法人の連絡会議に関連する情報収集を行った。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	市内の社会福祉法人の活動について情報収集を行うとともに、社会福祉法人の連絡会議の趣旨や目的を明確化する必要がある。
今後の取り組み方針	行政と連携し、社会福祉法人の連絡会議立ち上げに向けて情報収集を行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

社会福祉法人としての活動を地域に発信していく。
-------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(4)権利擁護の推進				
	事業名	①成年後見制度の理解・普及				
	事業の概要	日々の暮らしに不安を抱える、認知症高齢者や障害のある人等が、住み慣れた地域で安心して生活を続けていく一助となる成年後見制度については、市民の関心が高まりつつあるものの、広く普及するまでには至っていません。そのため、制度の理解・普及を目指し、市民を対象とした講座を開催します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)の生活支援員養成研修と市民向け講座「障害のある方の『親なきあと』にむけて」において、成年後見制度についての周知・啓発を行った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
成年後見制度の講座開催	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	2回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)の生活支援員養成研修と市民向け講座「障害のある方の『親なきあと』にむけて」において、成年後見制度の周知・啓発を行うことができた。</li> <li>マスクの着用・来所時の検温・手指消毒・参加者間の距離確保・十分な換気、など感染予防策を徹底した上で、無事に開催することができた。</li> <li>SNSで成年後見制度に関する情報発信を行った。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	長年に渡っているコロナ禍において、中止や延期の選択だけでなく、安全を確保し、そして参加者の理解を得ながら、多くの関係機関・市民が参加できる研修会をどのように企画していくか検討が必要である。
今後の取り組み方針	人数制限等の感染防止策を講じた研修会を企画し、開催していく。また、成年後見制度を主なテーマとした講座の開催に向けて、その内容や参加対象、講師等について検討する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

成年後見制度を知るため、市や社協が開催する講座に参加する。
-------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(4)権利擁護の推進				
	事業名	②虐待防止対策				
	事業の概要	社協が管理運営する施設に虐待防止のポスター等を掲示し、虐待防止の理解、啓発を図ります。また、施設利用者の様子を確認し、家族とコミュニケーションをとりながら状況確認を行い、必要に応じて関係機関に報告し、虐待の早期発見・抑制に努めます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止に係る掲示物を掲示し、市民への啓発を行った。(21)</li> <li>・社協が主催する講座等で虐待防止について周知を行った。(9)</li> <li>・虐待防止に関する研修を受講した(15)</li> </ul> 市民からの相談に対し関係機関を紹介したり、施設利用者の状況を確認し関係機関に報告する等、虐待の早期発見・抑制に努めた。 障害者施設においては、義務化された虐待防止委員会設置に向けて検討を行った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
市民等への啓発及び職員の研修	目標値	啓発 21件 研修 7件	啓発 21件 研修 9件	啓発 21件 研修 9件	啓発 21件 研修 9件	啓発 21件 研修 9件
	実績値	啓発 30件 研修 15件	啓発 研修	啓発 研修	啓発 研修	啓発 研修
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協が運営する施設等で虐待防止に関するポスターを掲示し、市民への啓発に努めた。</li> <li>・虐待防止に関する研修を内部で実施したり、外部での研修に参加することで、社協職員の虐待防止についての理解が深まった。</li> <li>・施設利用者への支援においても、虐待の早期発見・抑制に努め、関係機関と連携を図った。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	高齢者・障害者・児童等への虐待防止について、市民や関係機関、社協職員の理解をより深める必要がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の目につきやすい場所にポスター掲示を行ったり、社協が主催する講座等で説明を行うなど周知・啓発に努める。</li> <li>・虐待防止への理解を深めるため、社協職員は積極的に研修に参加する。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

虐待が疑われる場面に遭遇したら、関係機関に通報・相談する。
-------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--



## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(4)権利擁護の推進				
	事業名	③あんしんサポートねっと				
	事業の概要	住み慣れた地域の中で、高齢者や障害のある人が、安心してその人らしく生活できるよう、多様な地域資源を活用しながら専門員による相談援助や生活支援員による定期訪問等の援助を行います。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)の新規契約に向けた支援や、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
福祉サービス利用援助事業利用人数	目標値	11人	12人	13人	14人	15人
	実績値	12人				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の利用者の他、新たに3名の方の利用契約を行うことができた。また、生活支援員3名に新たに委嘱を行い、利用者の増加に対応できるよう体制整備を図ることができた。</li> <li>その他、利用者や利用希望者のニーズに応えられるよう、ケース会議等を通じて、行政・福祉・医療等の関係機関と積極的に連携を行った。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	生活支援員養成研修を開催し、新たに活動を希望する研修参加者がいたが、活動場所や利用者との相性等により定期的な活動につなげることができていない。
今後の取り組み方針	利用者や新規の生活支援員を適切にマッチングし、より多くの利用希望者のニーズに応えられる体制づくりを行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近に金銭管理や事務手続き等に不安のある人がいたら、あんしんサポートねっとを紹介する。
---

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(5)生活困窮者等への支援の充実				
	事業名	①生活再建のための相談支援				
	事業の概要	近年、非正規雇用や新型コロナウイルス感染症等を背景に、生活再建に関する相談が増加しています。当座の生活資金の相談から生活の安定が図られるまでに、その他の複合的な課題を抱えている人も多いため、市との連携強化を図り、様々な社会資源やその他の生活再建に必要な他制度を活用して、相談者の課題解決に向けて支援します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活困窮に関する相談があった際、現在の生活状況をよく聞き取り生活福祉資金貸付だけでなく、家計の見直し、適切な資源(生活保護、住居確保給付金、ハローワーク等)の情報提供を通して生活再建できるよう支援した。(193)</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大の影響で減収した相談者に対し、生活状況の聞き取り、特例貸付の申請受付を行った。(2,989)</li> <li>相談支援に必要な社会資源の情報収集・整理を行った。</li> <li>食材の確保が困難な相談者に対し食料支援を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
生活困窮に関する相談件数	目標値	100件	100件	100件	100件	100件
	実績値	3182件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により急増した生活困窮に関する相談において、詳細に聞き取りを行い、課題解決に向けて相談者と一緒に考え、生活福祉資金の案内や他の社会資源の情報提供をすることが出来た。</li> <li>相談者の状況により、食材支援や交通費の貸付(行路者旅費)を行い、生活再建に向けて支援することが出来た。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	年々相談内容が複雑化しており、生活資金貸付だけでは課題解決できないケースが増えてきている。
今後の取り組み方針	社会資源(生活保護、住居確保給付金、ハローワーク等)は、日々更新・変更されているので、相談者に適切な情報提供ができるよう情報を収集し、複雑な生活課題の解決にも対応できるよう関係機関との連携を深める。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近に生活困窮者等の情報が寄せられた場合、市や社協等と協力して支援を行う。
---------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

生活困窮の方々のニーズが多いと感じる。まだまだたくさんのニーズがあるんだろうなと思う。
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(5)生活困窮者等への支援の充実				
	事業名	②子どもの貧困対策に関わる団体への支援				
	事業の概要	子どもの貧困に関する問題は、単に金銭的な援助で解決するものではなく、居場所づくりや様々な学びの支援も行う必要があります。市内では子ども食堂や学習支援団体等がその活動を行っています。社協ではボランティアの募集や助成金情報等を提供する他、市民へ団体の活動を周知するなどの支援を行っています。今後も、団体等の支援を行うとともに、地域の中で身近な人たちが子どもの貧困について学びを深め、関心を持つことで、温かい食事や学習をサポートしてくれる地域の助け合いをします。今後も活動につなげていくことができるよう、啓発活動等に取り組んでいきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体から助成金申請希望があった場合、申請支援を行った。(県社協へ提出2件)</li> <li>企業からの寄贈・寄付による相談を受け、子ども食堂ネットワークにつなげ、子ども食堂の食材として活用してもらった。また、寄贈品を非課税世帯のひとり親家庭へ物品贈呈、ひとり親家庭等へ食材支援を行い企業×社協で貧困家庭の子ども支援を行った。(2件)</li> <li>子どもの貧困に関わる団体への支援として、本会ツイッター、ホームページ、朝霞市総合福祉センター1階情報コーナーにて随時助成金等の情報発信を行った。また、関係団体が実施するフードパントリー等のイベントについて周知することで、対象者と各団体がつながるきっかけ作りを行った。(4~12月46件)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
子ども対象団体への支援	目標値	5回	5回	10回	10回	10回
	実績値	4回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成金情報を随時発信し、更新することができたので、今後も継続していく。</li> <li>日頃から子どもの貧困に関わる各団体と情報交換等を行い、企業等から寄贈支援の相談を受けた時は連携して支援を行えるよう関係づくりを行いたい。</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	子どもの貧困対策に関わる団体と社協がお互いに相談しやすい体制作りを継続して行う。
今後の取り組み方針	食材提供や助成金情報の提出等、積極的に団体の支援を行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

子どもの貧困に対する活動団体を理解し、様々な形で応援する。
-------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

・自ら相談できない児童に対してのケアがまだできていない状況だと思う。
------------------------------------

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あそび福祉作業所 はあとび福祉作業所	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(6)地域住民の交流の促進				
	事業名	①地域住民の交流の機会の提供				
	事業の概要	福祉の関心を広げる仕掛けとしてのボランティア活動や地域デビュー講座、市内を5つの地区に分けての社協主催の地域懇談会などを積極的に開催してきたことで、幅広い世代の住民の参加・参画により住民同士の身近な交流の機会を作ってきました。このような地域づくりの中で、交流を深めながら温かく見守り、時にはおせっかいを受け入れるような、顔の見える地域づくりが大切です。これからも、このような地域を目指し、住民が主体となってより身近な地域で支え合う仕組みができるように、社協が実施する事業などを通じて、人材育成や地域づくりにつながるような交流できる機会を提供していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切り絵体験教室(11)</li> <li>・ノルディック・ウォーク教室(16)</li> <li>・健康太極拳教室(24)</li> <li>・生活リハビリ講座(4)</li> <li>・溝沼老人福祉センター交流事業(児童館との共催)(2)</li> <li>・溝沼放課後児童クラブ交流事業(児童館との共催)(1)</li> <li>・サロン活動サポート会(6)</li> <li>・はあとびあふれあい祭り(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</li> <li>・ふれあいマルシェ(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地域住民の交流事業	目標値	75回	80回	85回	90回	100回
	実績値	64回				
進捗状況及び自己評価	<p>コロナ禍で感染防止のために施設等が実施するまつり等の事業が中止となったが、対策を施しながら、特に高齢者のフレイル予防や仲間づくりの機会を継続して提供することができた。</p>					
	B	<p>A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない</p>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策を十分行っただうえで、参加者にも理解してもらいながら、事業が開催できるよう工夫が必要である。</li> <li>・地域福祉団体や自治会・町内会等、コロナ禍で活動ができなくても、社協との顔の見える関係が途切れてしまわないように連携が必要である。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも感染防止対策を十分行っただうえで、参加者にも理解してもらいながら実施できる事業を検討する。</li> <li>・地域福祉団体や自治会・町内会等と顔の見える関係づくりに努める。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域交流の機会があれば参加する。
------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災イベントに若い人が多く参加しており、とてもよかった。</li> <li>・自己評価を見ると、コロナ禍で事業実施の難しさを感じる評価になっていると思う。</li> </ul>
--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(6)地域住民の交流の促進				
	事業名	②地域住民の交流の活性化				
	事業の概要	地域では住民主体による高齢者や子育て支援などの身近なサロン活動が増えており、そうした活動や、関係づくりを支援することで、地域福祉を支える活動の活性化を図りました。こうした住民主体の活動により、身近な地域で支え合う意識が向上し、安心した暮らしにつながります。このような地域での助け合い、支え合いの活動をより広めるため、地域づくりや人づくりにつながる新たな場の立ち上げや、既存の活動支援を行っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤い羽根共同募金を財源として、団体の運営費や事業費を支援する「地域福祉活動助成金(地域福祉活動団体を除く)」を実施した。ふれあい・いきいきサロン、高齢者会食会の活動支援を行った。(運営費交付団体数15団体、事業費申請団体0団体)</li> <li>地域歳末たすけあい募金を財源として、「歳末援護金交付事業(地域福祉活動団体を除く)」を実施した。新年を迎える時期に支援を必要としている人へ支援を行うため活動している住民主体団体へ活動支援を行った。(交付団体数8団体)</li> <li>サロン・会食団体相談連絡件数(電話・訪問含む)(90件)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住民主体の活動への相談・支援	目標値	120件	120件	125件	125件	130件
	実績値	113件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>助成金を交付するなど既存団体への支援を行うことができた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で休会したり、活動回数を減らしている団体や活動参加を自粛している市民も増え、団体への相談支援、新規団体の立ち上げ支援が不十分となっている。</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	休会したり、活動回数を減らしている団体に対して、再開や活動意欲の維持のための有効な支援策が打ち出せていない。
今後の取り組み方針	既存の団体へ助成金等の支援を継続するとともに、コロナ禍で社協とのコミュニケーションが減っていた団体と、顔の見える関係を再構築し、感染症対策を行いながらの活動に向けて相談支援を行っていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、地域の活動に参加する。</p>
---

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>ご近所のコミュニケーションの手段のひとつとして町内会制度があるが、抜けてしまうとご近所付き合いが難しくなるので、課題だと思う。</li> <li>ご近所付き合い、社会的な仕掛けづくりの両面が必要と感じる。</li> </ul>
--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	1 市民の暮らしを支える仕組みづくり				
	施策の方向性	(6)地域住民の交流の促進				
	事業名	③外国人への支援				
	事業の概要	外国人が地域で暮らす中で、言葉や制度、心の壁等、様々な課題があると言われていますが、その課題を解決するには、地域で暮らしている外国人住民への関りや、多文化を理解する必要があります。外国人が安心して暮らすことのできる地域づくりをすすめていくために、外国人を支援する団体等との連携を図るとともに、知る・学ぶ・交流する機会を設けていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人が就労している会社に訪問し、本人、会社担当者と面談して困りごと等の確認を行った。(50件)</li> <li>・外国人からの生活困窮の相談において、分かりやすい日本語や、多国語の資料、翻訳アプリ等を活用しながら支援を行った。(112件)</li> <li>また、外国人を支援する団体から、外国人支援について学ぶ機会を設けた。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
支援件数	目標値	40件	40件	45件	45件	50件
	実績値	162件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人からの生活困窮の相談において、コミュニケーション方法を工夫することで多くの外国人の支援ができた。</li> <li>・障害者の就労支援においては、会社に訪問し、本人、会社担当者と面談して困りごと等の確認を行うことにより、安定した就労につなげることができた。</li> <li>・外国人を支援する団体とのつながりができた。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	日本語の理解に乏しい方もいるので就労を継続していくのが困難な事例があったり、国籍・文化によって価値観が違い、困りごとが多様化しているため、研修や支援の事例を通して、外国人支援の現状を知り、多様な支援の可能性について検討する必要がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、コミュニケーション方法等を工夫しながら、就労への支援や生活困窮についての相談支援を行う。</li> <li>・多方面からの支援が行えるよう、関係機関・団体との連携を深める。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近に困りごとを抱えている外国人がいる場合は、社協を紹介する。
---------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	①ボランティア・実習生の受け入れ				
	事業の概要	誰もが暮らしやすい地域づくりには、世代を問わず福祉への関心と参加が必要なことから、地域福祉の担い手の育成及び活動支援のため、ボランティアや実習生の受け入れを行います。また、児童館等においては、子どもボランティア事業を実施し、福祉やボランティアに関わるきっかけ作りに取り組んでいきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協が運営する施設で、ボランティアの受け入れを行った。(老人福祉センター4件、児童館216件、放課後児童クラブ91件、彩の国ボランティア体験プログラム5件、合計316件)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティアの受け入れを自粛した施設もあった。</li> <li>・社協の運営する施設で、実習生の受け入れを行った。(社会福祉士実習6件、保育実習8件、教員免許実習6件、合計20件)</li> <li>・社会福祉士実習の受け入れでは、各部署の実習指導者間で実習方法の検討や振り返りを行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ボランティア・実習生受け入れ人数	目標値	ボランティア 300件 実習生 20件	ボランティア 300件 実習生 20件	ボランティア 330件 実習生 25件	ボランティア 330件 実習生 25件	ボランティア 330件 実習生 25件
	実績値	ボランティア 316件 実習生 20件	ボランティア 実習生	ボランティア 実習生	ボランティア 実習生	ボランティア 実習生
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや実習生を受け入れる際には、新型コロナウイルス感染症の影響もある中、感染対策を徹底し、活動内容の見直し等を行い、安心安全な受け入れに努めた。</li> <li>・ボランティアの受け入れを自粛した際、定期的な活動をしているボランティアに施設通信を送付する等、つながりが切れないように工夫した。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントや事業が縮小もしくは中止となったため、参加者の活動の機会が減少した。</li> <li>・実習生やボランティアの受け入れについて、社協全体で福祉の担い手を育てるという意識を持つ必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、ボランティアや実習生の受け入れに努める。</li> <li>・地域福祉への理解と関心が深められるような受け入れ方法について検討する。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

福祉施設、ボランティア団体等のボランティア活動に参加する。
-------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園でご近所の方にボランティアを呼びかけ、消毒作業をやっていただきながら、保育園という場所を知ってもらう取り組みを行った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で施設のボランティア受け入れを中止しているが、施設に入居されている方は施設内だけの生活になりがちなので、精神衛生上のことを考え、受け入れについて検討していきたいと感じた。</li> </ul>
--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	②出前講座の実施				
	事業の概要	社協では出前講座の実施とともに、新たな講座の検討やメニューの見直しを図ってきました。今後は、さらに地域の様々な団体、企業等に対し、身近な地域でいつでも福祉の活動を「知る」「体験する」ができるような講座の実施、メニューの充実積極的な情報発信を行っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な福祉情報を交えた講座を社協職員等が講師となり、出前講座を実施した。 (「地域福祉と社協の活動について」、「障害福祉サービスについて」、「あいはあと事業について」、「手話体験教室」、「健康体操教室」、「車いす体験教室」等)</li> <li>・企業等へ出前講座情報含むチラシを配布したり、「朝霞社協まるわかり帳」(出前講座情報含む)の見直しを図った。(6)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
団体・企業等への働きかけ	目標値	3件	3件	3件	6件	6件
	実績値	6件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員会費募集時の企業への依頼文に「企業×福祉」チラシ(出前講座情報含む)を同封し、出前講座のPRを実施した。</li> <li>・あいはあと事業の周知啓発の際に、「企業×福祉」のチラシを持参し、内容を説明した。</li> <li>・卓上募金のお礼状送付時に、出前講座の情報を同封した。</li> <li>・「朝霞社協まるわかり帳」(出前講座情報含む)の見直しを図り、再作成し配布を行った。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	新しくチラシを作成する等、情報発信に努めたが、申請する団体が固定されている。
今後の取り組み方針	地域での行事やイベント、地域福祉団体の定例会等でのチラシや冊子の配布に加え、SNS等も使用して、出前講座の周知啓発に努める。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

協働事項	社協の出前講座に参加し、得た知識や経験を地域に伝えていく。
------	-------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

推進委員会の意見	・自己評価を見ると、コロナ禍で事業実施の難しさを感じる評価になっていると思う。
----------	---



## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	③ボランティア講座の開催				
	事業の概要	講座内容の充実を図るため、地域に出向きサロン活動者やボランティア等から、現在のボランティアニーズの聞き取りを行っています。引き続き、ボランティアニュースや社協ホームページ、ツイッター等のSNSを用いて講座情報を広く発信していきます。また、地域福祉の担い手となる人材の育成を目的とした講座等、参加する側が選択できる様々な目的別の講座を開催し、受講後も地域福祉を進める担い手となるよう継続的に参加者の支援を行っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動サポート会の実施(6)</li> <li>・あいはあと事業新規協力会員向け講習会(9)</li> <li>・彩の国ボランティア体験プログラム説明会(2)</li> <li>・災害ボランティア講座(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ボランティア講座の開催回数	目標値	7回	8回	8回	9回	10回
	実績値	17回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動者向けに、コロナ禍における活動について、感染防止対策や不安な点等について意見交換を行った。</li> <li>・あいはあと協力会員説明会を実施することで、地域で活動する協力者を増やすことができた。</li> <li>・彩の国ボランティア体験プログラムの説明会では事業の説明の他、ボランティア活動とは何かについて学ぶ機会を提供した。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、地域での活動を休止や縮小をしている団体が多く、ニーズの聞き取りが難しい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた内容の検討が必要である。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策を講じたうえで、ボランティア活動を始めるきっかけとなるような講座や災害ボランティア講座を開催し、地域の担い手の育成に努める。</li> <li>・受講後も情報を送付するなど、継続的に参加者とつながりを持つ。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

講座に参加して得た知識や経験を活かし、地域で活動をする。
------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

・自己評価を見ると、コロナ禍で事業実施の難しさを感じる評価になっていると思う。
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	④手話体験・要約筆記体験の実施				
	事業の概要	聴覚障害者に対する理解を深め、手話や要約筆記の普及を図ることを目的に、初歩的な手話や要約筆記を学ぶ場としての体験会を実施します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話体験の実施(1)</li> <li>・要約筆記体験の実施(1)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
手話体験・要約筆記体験会開催回数	目標値	2回	2回	3回	3回	3回
	実績値	2回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学齢期の年齢層を募集することで、若年層への手話の普及につながった。(手話体験)</li> <li>・手話サークル員や手話講習会受講生以外の、従来の手話関連事業と関わりのない方の申し込みが増えた。(要約筆記体験)</li> </ul>					
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍もあり、募集人数が増やせない状況にある。</li> <li>・要約筆記体験から県講習会へステップアップする人がでてこない。</li> </ul>
今後の取り組み方針	引き続き、感染症対策を講じながら、事業を実施する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

事業に参加し、手話や要約筆記への理解を深める。
-------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

・自己評価を見ると、コロナ禍で事業実施の難しさを感じる評価になっていると思う。
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	⑤地域福祉財源の確保				
	事業の概要	共同募金、寄付、社協会費等が有効に地域の福祉活動に活用されるよう、地域住民、企業、社会福祉法人等の参加度を高め、また、その資金に協力する人、助成を受けて活動する人、誰もが地域福祉の支え手として参画できるよう、分かりやすい周知の在り方を検討し、透明性の高い運動を展開します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募金実績額:赤い羽根共同募金(6,302,374円)、地域歳末助け合い募金(4,440,524円)</li> <li>・自治会・町内会を通して市民に対して募金への協力依頼を行った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、赤い羽根共同募金の街頭募金を社協職員のみで実施した。声掛けができない状況の中、一目で見て募金運動を実施していると理解してもらえるポスターを作成した。</li> <li>・一般介護予防事業参加者、老人クラブ連合会等に、プリペイドカード等の募金協力を依頼した。</li> <li>・募金運動実施前から社協ツイッターに関連記事を投稿し、日頃から関心を持ってもらえるよう工夫した。</li> <li>・その他に、「くるん募金箱」について部署内で情報共有・検討を行い、設置について周知・啓発を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
共同募金(赤い羽根・歳末)の募金実績額	目標値	11,000,000円	11,000,000円	11,000,000円	11,000,000円	11,000,000円
	実績値	10,742,898円				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、自治会・町内会向けの説明会の中止、各イベントの中止が相次ぎ、募金への協力を依頼する場が減少した。</li> <li>・コロナ禍だったが、朝霞市総合福祉センター1階に募金の使い道の動画を放映したり、ポスター掲示を行う等、周知活動を行った。</li> <li>・街頭募金では感染症対策を徹底した上で工夫しながら実施することができた。</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、戸別募金額が減少している。今後も減少が見込まれることから、新たな募金協力依頼先の開拓が必要である。</li> <li>・引き続き、募金活動についての周知・啓発に努める。</li> </ul>
今後の取り組み方針	多くの市民に募金活動について知ってもらえるよう周知・啓発を行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

社協の募金活動は身近な地域の福祉に役立つことを知り、活動に参加する。
------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の加入率が減少している状況を何とかしないといけないと感じる。</li> <li>・少額であっても会費や募金は地域の役に立っていることをテレビで言っていて、非常に勉強になった。</li> </ul>
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(7)地域福祉に関する理解と参加の促進				
	事業名	⑥住民参加型在宅福祉サービス「あいはあと事業」				
	事業の概要	これまで住民参加型在宅福祉サービスとして、「ふれあいサービス事業」と「ホームクリーニング事業」を実施してきましたが、この2つを統合し、新たに「あいはあと事業」を開始します。この事業は地域の支え合いの仕組みをつくることを目的としており、日常生活の中で「ちょっと人の手を借りたい」、「空いているときに人のお手伝いをしたい」、そんな想いをつなげる地域の支え合い活動を展開していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近に困っている人がいる場合は、あいはあと事業のパンフレットや紹介をしてほしいと利用会員、協力会員に伝え、情報発信を依頼。</li> <li>・住民の紹介による利用件数(101件うち14件)</li> <li>・広報紙社協あさか4月号や社協ツイッター、老人クラブ連合会のおたより等にあいはあと事業の概要記事を掲載。</li> <li>・あいはあと事業のパンフレット配布(市民、利用会員、協力会員、民生委員、ボランティア活動団体、市役所職員、リゾン(株)講演会参加者、保健センター、あさか市民大学受講者、サロン会食団体、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等)</li> <li>・講習会周知のため、イトーヨーカドー朝霞店、マツエツ朝霞店、東武ストア朝霞店にポスターを掲示を依頼したり、ナナコライブラリーエフエムに出演した。</li> <li>・あいはあと事業利用者(高齢者)宅訪問時は、担当ケアマネージャーに同行依頼し、関係機関との顔の見える関係づくりを行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住民の紹介による利用件数	目標値	10件	10件	10件	15件	15件
	実績値	14件				
進捗状況及び自己評価	<p>新たな事業として開始したため、様々な手段を使って、周知啓発に努め、101件の地域住民の支え合い活動が実施できた。うち、住民の紹介による件数を見ると14件で、同じ市民から利用会員を紹介されるケースが多かった。</p>					
	A	<p>A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない</p>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の利用件数から見ると、住民の紹介による利用件数が少ないが、着実に地域の支え合い活動は増えている。</li> <li>・引き続き、広報紙等で周知啓発を行っていく必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針	広報紙だけでなく、利用会員・協力会員に事業の趣旨説明をしっかりと伝えていく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

社協で得た情報、知識を地域に伝えていく。
----------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(8)支え合い・助け合いの気持ちの醸成				
	事業名	①教職員対象の研修会の実施				
	事業の概要	福祉教育の推進には、教職員や福祉教育に携わる人の理解と連携が必要不可欠です。そのために、小・中・高等学校の教職員や地域の福祉教育に携わる人を対象に、具体的な事例や福祉体験等を取り入れ、より充実した研修会を継続的に実施していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、例年一か所の会場で実施していた研修会をオンラインと各市社協で会場を設けて、実施した。(担当市:新座市社協)</li> <li>参加者:四市合計 80人(延べ100人)(朝霞市 14人 延べ18人)</li> <li>・市内小・中・高等学校に案内と福祉教育のメニューをあわせて送付し、小・中学校の校長会・教頭会議に出席し、口頭でも周知を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
教職員向けの研修会の開催	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市、和光市、志木市、新座市社協のボランティアセンターが共催で「朝霞地区四市福祉教育研修会」を開催している。四市の担当職員の打ち合わせを重ね、新型コロナウイルス影響下でも開催できるよう内容や実施方法の検討を行い、オンラインと併用で会場を分散する企画を立案し、実施した。</li> <li>・教育委員会を通じて校長会、教頭会に出席し、四市福祉教育研修会や小中学校での福祉教育の周知を行った。</li> <li>・これまでなかった高等学校の先生の参加があった。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育現場での福祉教育の実践にあたっては、指導する教職員の理解が不可欠であり、より多くの研修参加者を募る必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルス影響下で、どのように福祉教育の実践をとり入れていくか、開催方法や内容の検討が必要である。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉教育の推進に携わる小・中・高等学校の教職員の参加者が増えるよう教育委員会との連携を深める。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症感染防止対策を施した上で、福祉教育が実施できるよう内容を検討していく。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

研修会で得た知識・経験を子どもたちに伝えていく。
--------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは家庭環境が他と比較できなく、問題を自覚していないケースがあるため、学校や地域全体が理解し、周りから手を差し伸べられる環境になると良いと思う。</li> <li>・自己評価を見ると、コロナ禍で事業実施の難しさを感じる評価になっていると思う。</li> </ul>
--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(8)支え合い・助け合いの気持ちの醸成				
	事業名	②他機関と連携した福祉教育の実施				
	事業の概要	毎年、小・中学校の総合的な学習の時間において、当事者の講演や体験等によるさまざまな福祉教育を実施してきました。今後は、社協で実施してきた福祉教育を、市内の施設等の協力を得ながら、子どもから大人までを対象とした、支え合い・助け合いの気持ちを醸成する福祉教育として実施していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校での福祉教育の実践の際、福祉教育サポーター(ボランティア)に協力を得ていたが、コロナ禍で活動を休止した。</li> <li>・社協新人職員研修の一環として、福祉教育の実践に参加した。</li> <li>・小中学校での福祉教育の実践では、福祉教育メニューと依頼方法についてまとめた案内を各小中学校へ送付し、教職員との連携を図った。また、よりスムーズに福祉教育を実施するために、校長会・教頭会に出席し、周知・啓発を行った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で学校での実施を見送ったが、「福祉について」の事前学習を学校で進められるよう、DVDを作成し、貸出を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
福祉教育の実施	目標値	50回	50回	55回	55回	60回
	実績値	64回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉について」の事前学習を学校で進められるよう、DVDを作成し貸出を行うことで、学校での事前学習が実施でき、その後の体験学習にスムーズに取り組むことができた。</li> <li>・社協新人職員研修の一環として、部署を超えて職員の協力があり、社協全体で福祉教育に取り組む機会となった。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での福祉教育の実施が多く、中学校や高校、市民等からの依頼が少ない。</li> <li>・小学校の福祉教育の依頼が、秋に集中することから、福祉教育サポーター(ボランティア)の協力が必要である。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも行える福祉教育の内容や方法を検討する。</li> <li>・福祉教育(出前講座での実践等含む)について、地域での行事やイベント、地域福祉団体の定例会等でのチラシや冊子の配布に加え、SNS等でも情報を発信し、周知を図る。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

福祉教育の体験学習等に参加して、支え合い・助け合いの気持ちを育む。
-----------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

・保育園でご近所の方にボランティアを呼びかけ、消毒作業をやっていただきながら、保育園という場所を知ってもらう取り組みを行った。
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(9)地域での見守りの充実				
	事業名	①住民参加による見守り事業の推進				
	事業の概要	住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、日頃から顔が見える、声をかけあえる関係が必要です。そのために、地域住民が主体となって見守り活動ができるよう、ボランティアや事業協力者、講座参加者に働きかけを行い、子どもたちの登下校時等における地域の見守りの目の強化について啓発していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいはあと事業新規協会員向け講習会にて、地域の見守りの重要性、気づいてほしい点を紹介した。(1)</li> <li>・あんしんサポートねっと事業の生活支援員養成研修において、地域の見守りについて啓発を行った。(1)</li> <li>・赤い羽根共同募金卓上募金協力団体に対し、お礼状送付の際「ご近所でふくし」のチラシを同封し、地域の見守りについて周知啓発を行った。(1)</li> <li>・老人クラブ連合会総会にて、見守り活動の事例等を紹介し、周知啓発を図った。(1)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
見守り活動の啓発	目標値	10回	10回	15回	15回	20回
	実績値	4回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいはあと事業新規協会員向け講習会、あんしんサポートねっと事業の生活支援員養成研修にて、社協事業の協力者に、見守り活動について周知啓発を図ることができた。</li> <li>・老人クラブ連合会総会や募金協力団体等、より広く見守り活動の周知啓発ができた。</li> </ul>					
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、講座や講習会の開催が減少し、啓発の機会が減っている。
今後の取り組み方針	社協とつながりのあるボランティアや協力員、また地域で開かれる行事やイベント等への参加者に対して、見守り活動の周知啓発を行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

高年齢者や障害のある人、子どもなどへの見守りや声掛けを行う。
--------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの高齢者が相談できる場所や、出かけられる場所を知っていれば近所の方に伝えられると思う。</li> <li>・地域の困りごとを地区の民生委員に相談し、ご近所の方に手伝ってもらえる環境ができれば良いと思う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で行事が滞っていた。</li> <li>・町内会の役員が高齢のためできないなど事情があるなら、誰か代わってあげるなど、相互扶助をすることがご近所付き合いだと思う。</li> </ul>
--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(10)情報共有・発信の充実				
	事業名	①分かりやすい福祉情報の提供				
	事業の概要	広報紙「社協あさか」、ホームページ等を用いて多くの福祉情報を提供していますが、今後は、誰もが必要な時に、必要な情報を得ることができるよう、従来の広報手段に加え、YouTube、ホームページ及びSNS等を活用し、分かりやすい地域の福祉情報の提供に努めます。また、各種イベント等の顔の見える環境において、社協のサービスや福祉情報の周知を行っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞社協全体で、ホームページ、ツイッター(905回)、フェイスブック(720回)、YouTube(64回)を使用した情報発信を行った。(令和4年2月現在)</li> <li>・広報紙「社協あさか」(4月号、7月号、10月号、1月号)を発行した。(4)</li> <li>・「朝霞社協まるわかり帳」の見直しを図り、再作成し、配布した。(1)</li> <li>・福祉の情報をSNSに投稿し、広く情報提供を行うとともに、サロンや福祉団体を訪問する際は広報紙やチラシなどを持参し、直接情報を届けた。また、広報紙やチラシの新規設置場所の開拓を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
福祉の情報提供	目標値	SNS 200回 紙媒体 20回	SNS 210回 紙媒体 20回	SNS 230回 紙媒体 23回	SNS 240回 紙媒体 23回	SNS 250回 紙媒体 25回
	実績値	SNS 140回 紙媒体 18回	SNS 紙媒体	SNS 紙媒体	SNS 紙媒体	SNS 紙媒体
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSや広報紙などを活用し、多くの情報を提供できた。</li> <li>・より多くの住民に情報を届けるため、広報紙等の新規設置場所の開拓を行った。</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の活動団体が休止したり、講座等が中止になる等、顔の見える環境での福祉情報の周知が減少している。</li> <li>・SNSによる情報発信を社協が実施していることをより周知する必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針	新型コロナウイルス感染症への対策を講じたうえで、直接市民に福祉情報を周知する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

「社協あさか」を読み、福祉サービスの情報を得る。
--------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこに相談したらよいか分かりやすいと思う。</li> <li>・どういことを相談出来るかわかれば、相談しやすいと思う。そのような具体的なことを発信すると声をあげる人が増えるのではないかと。</li> <li>・保育園ではコロナ禍でも話ができるように、インターネット相談を立ち上げた。</li> <li>・朝霞マップやガイドラインなどを活用して、朝霞の良いところをPRしていければいいと思った。</li> </ul>
---



## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(10)情報共有・発信の充実				
	事業名	②メディア戦略の強化				
	事業の概要	複雑化・多様化する情報社会に対応するため、広報紙「社協あさか」等の既存の媒体に加え、SNSや新しいツールを弾力的に活用して、正確で鮮度の良い社協の情報や地域の情報の提供を目指し、メディア戦略の強化を図っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙設置先の拡大として、商業施設等の計5ヶ所が新しく設置先となった。(5)</li> <li>・携帯電話でのホームページ閲覧時に、ホームページ内の問い合わせ欄等の電話番号をクリックすると直接電話がかけられる設定を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
広報紙等の設置先の拡大	目標値	2件	2件	2件	2件	2件
	実績値	5件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協と関連のある商業施設等の協力を得て、広報紙の設置先を拡大させることができたことにより、自治会・町内会に未加入の住民にも広報紙を配布する機会が増えた。</li> <li>・ホームページを利用しやすくするための改善を行った。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	広報紙の設置先の拡大が進むと、広報紙発行の際の配布する費用等の負担が増える。
今後の取り組み方針	社協と関係のある設置先で、社協各部署から直接配布できる設置場所を調査検討する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

福祉サービスの情報を得るための「社協あさか」の設置場所を紹介する。
-----------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういことを相談出来るかわかれば、相談しやすいと思う。そのような具体的なことを発信すると声をあげる人が増えるのではないかと。</li> <li>・朝霞マップやガイドラインなどを活用して、朝霞の良いところをPRしていければいいなと思った。</li> </ul>
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成				
	事業名	①福祉活動団体に対する活動支援				
	事業の概要	身近な地域での見守り・支え合いの基盤となる自治会・町内会や福祉活動団体等に対して継続的な活動ができるよう助成等の支援を行います。また、団体と連携・情報共有し、地域福祉に参画する住民の増加や地域の活性化を図ります。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協支部活動費助成金及び広報折込料助成金を交付し、自治会・町内会への活動支援を行った。(社協支部活動費及び広報折込料:61件)</li> <li>・赤い羽根共同募金等を財源とした地域福祉活動助成金(サロン・会食団体を除く)を交付し、地域福祉活動団体への活動支援を行った。(運営費:18件、事業費:7件)</li> <li>・地域歳末たすけあい募金を財源とした歳末援護金(サロン・会食団体を除く)を交付し、新年を迎える時期に支援を必要としている人へ支援を行うため活動している地域福祉活動団体へ活動支援を行った。(10件)</li> <li>・福祉活動団体相談連絡件数(電話・訪問含む):延べ163件</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
自治会・町内会・福祉活動団体等への相談・支援	目標値	210件	210件	210件	220件	220件
	実績値	259件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協活動への協力や地域で福祉活動を行っている自治会・町内会、福祉活動団体に助成金を交付したり、相談支援を行った。</li> <li>・コロナ禍で活動を休止している団体もあるため、助成金を申請する団体が減少している。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、対策を講じながらの地域活動に対して、どのような支援が必要なのか調査検討が必要である。</li> <li>・コロナ禍で活動ができなくても、社協との顔の見える関係が途切れてしまわない工夫が必要である。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉活動団体に対して、助成金交付及び情報提供を継続的に行う。</li> <li>・福祉活動団体への活動支援について、調査検討を行う。</li> <li>・福祉活動団体と顔の見える関係づくりに努める。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近な地域活動に参加する。
---------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の加入率が減少している状況を何とかしないといけないと感じる。町内会から抜けてしまうと、何かあったときに町内会が絡めなくなってしまう。</li> <li>・防犯灯の設置は町内会費で賄っているなど、町内会の活動が見えないから抜ける判断にいたってしまうのかなと思う。</li> </ul>
--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成				
	事業名	②手話講習会の実施				
	事業の概要	市からの受託事業の取組として、登録手話通訳者を育成するため、段階的に手話講習会を実施します。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	手話講習会(養成、入門)を実施した。また、登録手話通訳者試験を実施した。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
登録手話通訳者数	目標値	10人	10人	11人	12人	13人
	実績値	11人				
進捗状況及び自己評価	講習会修了者の中から登録手話通訳者試験に合格する者が出て、登録手話通訳者数を増やすことができた。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	コロナ禍により講習会(入門)の定員を例年より絞ったため、受講希望者で受講できない方がいた。
今後の取り組み方針	引き続き、感染症対策を講じながら、講習会を開催する。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

担い手になりそうな人に声をかけて、人材を育成していく。
-----------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

・自己評価を見ると、コロナ禍で事業実施の難しさを感じる評価になっていると思う。
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	高齢者・児童福祉課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成				
	事業名	③老人クラブに対する活動支援				
	事業の概要	高齢者が地域で楽しく豊かに充実した生活を送るための地域コミュニティの一つである老人クラブについて、市民の認知度を上げるとともにスポーツ及び芸能文化活動等の支援を行います。また、長年の知恵と経験のある会員の技能を活用した支え合い活動がより効果的に展開されるよう支援していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ連合会の年間事業の検討や予算編成などの会議に参加し、協議を行った。(8)</li> <li>・老人クラブの定例会に、社協職員が出向き介護予防体操を行う等の支援を行った。(25)</li> <li>・新たな趣味を増やし、参加者同士のふれあいや生きがいづくりを目的として、教養講座(書道・俳句)を実施した。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
相談支援件数	目標値	43件	43件	53件	53件	64件
	実績値	33件				
進捗状況及び自己評価	令和3年度は、コロナウイルスにより年間行事が中止となる等、支援が難しい状況であった。定例会を実施しているクラブについては、社協職員が介護予防体操を行ったり、社協について説明する機会を設ける等の支援を行った。					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染拡大が始まって以来、定例会を開催していないクラブがあり、活動の支援ができていない。</li> <li>・感染予防対策を講じながら、年間事業をどのように実施していくか検討が必要である。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会を実施していないクラブについて、感染症対策について周知啓発を行ったり、職員が外に出向き体操を指導するなど、センター以外の場所での活動支援も含めて検討する。</li> <li>・感染予防対策を講じながらの年間行事の実施について、各クラブと協議していく。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域の老人クラブ活動に参加する。
------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成				
	事業名	④ボランティア講座の開催(再掲)				
	事業の概要	地域のボランティアニーズを把握し、ボランティアニュースや社協ホームページ・ツイッター等のSNSを用いて広く発信します。また、地域福祉の担い手となる人材育成を目的とした講座等、参加する側が選択できる様々な目的別の講座を開催し、講座後も継続的に参加者の支援を行います。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動サポート会の実施(6)</li> <li>・あいはあと事業新規協力会員向け講習会(9)</li> <li>・彩の国ボランティア体験プログラム説明会(2)</li> <li>・災害ボランティア講座(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
ボランティア講座の開催回数	目標値	7回	8回	8回	9回	10回
	実績値	17回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン活動者向けに、コロナ禍における活動について、感染防止対策や不安な点等について意見交換を行った。</li> <li>・あいはあと協力会員説明会を実施することで、地域で活動する協力者を増やすことができた。</li> <li>・彩の国ボランティア体験プログラムの説明会では事業の説明の他、ボランティア活動とは何かについて学ぶ機会を提供した。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、地域での活動を休止や縮小をしている団体が多く、ニーズの聞き取りが難しい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた内容の検討が必要である。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策を講じたうえで、ボランティア活動を始めるきっかけとなるような講座や災害ボランティア講座を開催し、地域の担い手の育成に努める。</li> <li>・受講後も情報を送付するなど、継続的に参加者とつながりを持つ。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

講座に参加して得た知識や経験を活かし、地域で活動をする。
------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

・自己評価を見ると、コロナ禍で事業実施の難しさを感じる評価になっていると思う。
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	2 思いやりと支え合いの心づくり				
	施策の方向性	(11)地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成				
	事業名	⑤地域活動団体間の交流事業				
	事業の概要	朝霞市ボランティアセンターでは、地域福祉を支える団体の活性化を図るため、個々の団体への支援だけでなく、市が設置する市民活動支援ステーションと共催で、地域活動団体の交流事業を実施していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動支援ステーションと共催での交流事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施できなかった。</li> <li>市民活動支援ステーションの配信メールにボランティアセンターの情報の掲載を依頼した。</li> <li>サロン活動について団体同士の意見交換を行う場として、サロン活動サポート会を開催した。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
地域活動団体交流事業	目標値	1回	1回	2回	2回	2回
	実績値	6回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動支援ステーションと共催での交流事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施できなかったが、随時、情報共有を行った。</li> <li>サロン活動サポート会では、コロナ禍における活動について、不安を抱えている活動者が多いことをふまえ、他のグループと情報共有ができるよう、意見交換を行った。また、コロナ禍で活動を行うにあたり、感染対策など参考となる資料を配布した。</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市民活動支援ステーションとの共催で地域活動団体交流事業を実施することができなかった。</li> <li>コロナ禍で思うように活動ができていない団体への支援方法の検討が必要である。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動支援ステーションと情報共有を行い、地域活動団体交流事業開催に向けて、協議を重ねる。</li> <li>地域で活動する団体の状況等について確認し、必要な支援を検討する。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域活動の活性化のために、ボランティアに参加する。
---------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価を見ると、コロナ禍で事業実施の難しさを感じる評価になっていると思う。</li> </ul>
--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(12)施設等の整備・充実				
	事業名	①地域の人が集える拠点(場)づくり				
	事業の概要	住民主体の地域活動を活性化していくには、地域の情報共有や取組について、地域住民が気軽に集まれて話し合える拠点(場)が必要とされています。そのために、拠点(場)となる場所について、空き家や営業店舗の一部分等の情報収集を行い、地域住民が気軽に利用しやすい場作りについて活用可能か検討していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業店舗との関係を構築するため、まずは社協広報紙の設置を依頼した。</li> <li>・生活支援コーディネーター会議にて情報収集を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
拠点の調査・開拓	目標値	3件	3件	3件	6件	6件
	実績値	4件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業店舗とのつながりをつくるきっかけとして、広報紙の設置をお願いすることができた。</li> <li>・生活支援コーディネーター会議に出席し、市や包括支援センターと情報共有を図った。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	地域の人が集える場について、公共施設や社協施設以外の情報収集が必要である。
今後の取り組み方針	薬局やスーパーなどの店舗の一部スペースを活用できるか等、情報収集を行う。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

地域の人が集える場について情報提供する。
----------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価を見ると、コロナ禍で事業実施の難しさを感じる評価になっていると思う。</li> <li>・<b>スペース確保・空き家活用を考える際、ハード(エアコン、備品、補修等)の予算の確保を考える必要がある。</b></li> </ul>
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(12)施設等の整備・充実				
	事業名	②施設の点検・修繕				
	事業の概要	社協が管理運営する施設において利用者が安心・安全に施設利用ができるよう、日頃から施設内外の点検を継続的かつ定期的に行っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が安心・安全に施設利用できるよう、社協が管理運営する全施設において、建物及び設備の定期的な点検・保守を実施した。</li> <li>・必要に応じて施設及び設備の修繕を行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
点検施設数	目標値	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所
	実績値	21か所				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び設備の定期的な点検(業者による法定点検や職員による施設及び公用車等の点検等)を実施し、安全な施設運営に努めた。</li> <li>・修繕が必要となった箇所については、利用者の安全を優先順位として修繕等を行った。</li> </ul>					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備の老朽化により、修繕箇所が増え、それに伴い費用も増加する施設が出ている。</li> <li>・指定管理事業の範囲では実施できない高額な修繕も発生しているため、市担当課との情報共有・連携が必要である。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点検・保守・修繕を実施して、利用者が安心・安全に利用できる施設運営に努める。</li> <li>・職員の施設等の安全管理に関する意識の向上に努める。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

施設のルールを守り、有効に活用する。
--------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--



## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	①災害ボランティア講座の実施				
	事業の概要	災害は全て想定内で起こるとは限りません。想定外のことも踏まえ普段から地域のつながりや防災意識を高めるため、これまで災害ボランティア講座を開催してきました。今後さらに地域住民同士が支え合う意識の醸成を図るため、地域住民や社協職員を対象とした講座を開催します。また、災害ボランティアとして活動できる人材を増やしています。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民向けの災害ボランティア講座を2月に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期した。</li> <li>埼玉県社会福祉協議会主催の「災害対応力強化研修」に社協職員が出席した。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
災害ボランティア講座	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	0回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害ボランティア講座を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により延期した。(申込25名)。</li> <li>朝霞市危機管理室職員に講師を依頼。行政と連携を図るきっかけとなった。</li> <li>第一生命保険株式会社浦和支社と災害時の協定を締結した。平時からつながるために、災害ボランティア講座について周知した。</li> </ul>					
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が災害ボランティアについての知識を得て、意識の醸成を図れるような講座内容を検討する。</li> <li>地域住民が参加しやすいよう講座を土曜日の開催にしたが、社協職員向けの研修等については検討が必要である。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害ボランティア講座に参加した人と平時からつながりが持てるよう、ボランティア登録に結びつくような支援を行う。</li> <li>社協職員は、埼玉県社協等が行う研修へ積極的に参加する。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

災害ボランティアについて関心を持ち、社協が開催する講座等に参加する。
------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>個別避難計画と同時に住民がお互いに横のつながりを持つことが必要だと思った。</li> <li>自己評価を見ると、コロナ禍で事業実施の難しさを感じる評価になっていると思う。</li> </ul>
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	②災害ボランティアセンター設置訓練の実施				
	事業の概要	災害ボランティアセンターは、社協職員だけでは運営が難しいとされています。そのため、災害発生時、社協が災害ボランティアセンターを設置・運営していくためには、継続的な訓練が必要です。社協職員に限らず、行政や地域住民にも参加を呼びかけ、横のつながりを確認しながら訓練に取り組んでいきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置訓練の一環として、共募配分金を活用し、災害ボランティアセンター立ち上げ時に使用する資機材の充実を図った。</li> <li>・県社協主催の災害ボランティアに関する研修について、社協全職員に周知し、参加者を募った。</li> <li>・第一生命保険株式会社浦和支社と「災害時におけるボランティア活動等に関する協定書」を締結した。</li> </ul>					
指標名	名	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
災害ボランティアセンター設置訓練	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
	実績値	1回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時にも迅速に対応できるよう、災害ボランティアセンター立ち上げ時に使用する資機材の充実を図り、リスト化した。</li> <li>・災害ボランティア講座実施に伴い、朝霞市危機管理室職員に講師を依頼し、行政と連携を図るきっかけとなった。</li> <li>・県社協主催の災害ボランティアに関する研修について、社協内で部署を超えての参加があり、災害ボランティアセンターは社協全体で取り組むという意識の醸成を図ることができた。</li> <li>・第一生命保険株式会社浦和支社と災害時の協定を締結し、つながりを持つことができた。</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の対策を講じたマニュアルや訓練の実施方法について検討が必要である。</li> <li>・ボランティアセンター担当のみではなく、社協内全部署から職員を集め、チームとして検討していく体制を整えていく必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を想定した、災害ボランティアセンターに関する訓練について検討する。</li> <li>・災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルについて、感染防止対策を盛り込めるよう見直しを図る。</li> <li>・災害ボランティアに関する研修の情報を、全部署に周知配信し、参加を促すことで、意識の向上を図る。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

災害ボランティアについて関心を持ち、社協が開催する講座等に参加する。
------------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	総務課 高齢者・児童福祉課 あさか福祉作業所 はあとびあ福祉作業所	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	③防災訓練の実施				
	事業の概要	社協が管理運営する施設において、火災や自然災害を想定した防災訓練を実施し、平時から災害に備えるとともに、施設利用者や地域住民に対して防災意識の啓発に努めます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用者と職員等含めて、避難訓練(火災・地震・水害等の想定)を実施した。また消防設備機器等の操作訓練(消火活動や通報等)を行った。</li> <li>利用者・保護者宛てに、火事・地震等の発生時の初期対応について、啓発のチラシを配布した施設もあった。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
防災訓練の実施施設数	目標値	21か所	21か所	21か所	21か所	21か所
	実績値	21か所				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令に定める避難・消防訓練を実施することができた。</li> <li>施設によっては、利用者も参加したり、開始時間や災害状況を事前に周知を行わないブラインド形式の訓練を行う施設もあり、防災への意識の啓発ができた。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、通常よりも参加者を減らしたり、内容を変更して実施せざるをえない施設があった。
今後の取り組み方針	法令に定める消防訓練・避難訓練を行なうほか、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、利用者や地域住民にも声かけして参加してもらう訓練を企画する等、防災意識の向上に努める。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

施設が行う防災訓練に参加する。
-----------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

・防災について、高齢者だけではできないので若い世代を巻き込みながら、イベントなど参加しやすい形で防災の意識を高めることが必要だと感じた。
--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(13)防災対策の充実				
	事業名	④小地域福祉活動における防災事業の相談支援				
	事業の概要	自治会・町内会やボランティア団体が行う防災関連事業に対し、災害発生時の初期対応や身の回りにあるもので作れる防災グッズ等の情報提供を行ってきました。今後は、災害時の様々な場面で役立つ情報や災害関連の講座案内等、地域住民の支え合いによる防災活動について社協から情報発信を行いつつ相談支援を行っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、町内会における防災事業についての企画の相談があった。(2)</li> <li>・災害ボランティア講座の開催について周知した。(1)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
防災関連情報の周知・啓発・相談支援	目標値	3件	3件	3件	6件	6件
	実績値	3件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティア講座の開催に向けて、周知活動の行い、市民への啓発、講師(行政)との連携づくりができた。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で、自治会・町内会や地域活動団体等の防災に関するイベントや講座が中止となり、周知啓発の機会が減ってしまった。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協が主催する災害ボランティア講座を開催する。</li> <li>・自治会・町内会から小学校区等の団体が、コロナ禍において実施している防災に関するイベントや講座等の情報収集を行う。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

日頃から防災に関心を持ち、地域で実施する防災訓練等に参加する。
---------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別避難計画と同時に住民がお互いに横のつながりを持つことが必要だと思った。</li> <li>・防災について、高齢者だけではできないので若い世代を巻き込みながら、イベントなど参加しやすい形で防災の意識を高めることが必要だと感じた。</li> </ul>
--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	高齢者・児童福祉課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(14)防犯対策の充実				
	事業名	①子どもへの防犯教室の実施				
	事業の概要	社協が管理運営する児童を対象とした施設において、自分の身を守るために普段からできること等、分かりやすく防犯について学ぶための機会を提供します。また、施設間でも防犯対策について情報を共有し、防犯対策の充実を図っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協が運営する放課後児童クラブにて、防犯教室を開き、児童が防犯を学ぶ機会を提供した。(9)</li> <li>・放課後児童クラブ主任会議や児童館長会議にて、地域の防犯に関する情報や対策について、情報交換を行った。</li> <li>・朝霞警察署から提供される「地域防犯支援情報」を活用し、社協内で情報共有した。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
子どもへの防犯教室	目標値	10回	10回	10回	10回	10回
	実績値	9回				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブ内で防犯教室を開催し、社協職員が紙芝居や寸劇で児童に伝わりやすい工夫を行った。</li> <li>・放課後児童クラブでは、日常的にも交通ルールや安全対策について、児童に教えるよう努め、防犯に対する意識づけを行った。</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、放課後児童クラブでは、利用を自粛する児童もいたため、より多くの児童に周知できていない。
今後の取り組み方針	自分で自分の身を守れるような知識が増えるよう、防犯教室を継続して開催していく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近な地域での見守りや防犯活動に参加する。
-----------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課 高齢者・児童福祉課	係名	地域福祉推進係
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(14)防犯対策の充実				
	事業名	②住民の防犯への意識の啓発				
	事業の概要	地域住民に対して、朝霞警察署と社協の見守りネットワークの協定により提供される「地域防犯支援情報」を活用した情報提供を行います。また、社協が開催する講座や研修会、集い等の場でも地域の中で取り組んでいる防犯活動の事例を紹介・周知し、防犯意識を高める啓発を行っていきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞警察署より提供される地域防犯ニュースをTwitterに投稿し、情報提供を行った。(1)</li> <li>・社協が運営する老人福祉センターにて、埼玉県警察が作成した「特殊詐欺」に関する注意喚起やクーリングオフに関する情報等のポスター掲示したり、チラシを配布し、利用者へ情報提供した。(2)</li> <li>・社協が運営する放課後児童クラブにて、朝霞市からの不審者情報等を周知し、児童及び保護者に情報提供を行った。(10)</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
防犯関連情報の周知・啓発	目標値	20件	20件	20件	25件	25件
	実績値	13件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Twitter等を使用して、地域防犯ニュースを配信し、また職員間で情報を共有することで防犯意識の醸成を図ることができた。</li> <li>・社協が運営する施設にて、防犯に関する注意喚起、啓発活動を行い、施設利用者の防犯に対する意識付けを行うことができた。</li> </ul>					
	B	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、地域や施設での講座等が減少し、防犯等に関する情報提供を行う機会が減ってしまった。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシや印刷物など紙媒体を用いた情報提供を継続して行う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症への対策を施したうえで、地域や施設で行われる講座等での情報提供を行う。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

自分たちの安全は自分たちで守るという意識を持ち、日頃から防犯に関する情報への関心を高める。
---

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会加入率が減少すると防犯灯の管理が困難になってしまう。</li> <li>・防犯灯に関しては暗いところなどを町内会、自治会が小回りを利かせて回っている。</li> </ul>
---

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(15)外出・移動の支援				
	事業名	①障害のある人や高齢者の外出支援				
	事業の概要	障害のある人や高齢者が地域で安心して暮らしていくためには、外出時の手段も大切な役割を担っています。その手段の一つである住民による生活支援サービス「あいはあと事業」により、外出を支援していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	あいはあと事業で、高齢者等の買い物同行を行った。					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
外出支援活動件数 (あいはあと事業)	目標値	30件	30件	35件	35件	35件
	実績値	31件				
進捗状況 及び 自己評価	令和3年4月からあいはあと事業がスタートしたが、当初、外出支援の件数が少なかった。その後、事業周知の効果もあり、地域包括支援センター等から通院同行の問い合わせが増えてきている。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	地域の身近なお手伝いとして「あいはあと事業」を利用してみようと感じてもらえるよう事業の周知啓発が必要である。
今後の取り組み方針	・あいはあと事業にて、外出を支援する活動があることを周知する。 ・関係機関にあいはあと事業の概要を周知するだけでなく、連携を取り、利用や相談しやすい関係性を構築していく。

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

身近な地域の支え合いにより、外出を支援する。
------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

--

## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(15)外出・移動の支援				
	事業名	②車いすの貸出し				
	事業の概要	けがをして車いすが必要になった、病院から退院する際に車いすを使いたい等、生活の中で短期的に車いすを必要とする人へ貸出しを行います。貸出し時には、操作方法について説明し、車いす利用時の事故を予防していきます。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立歩行の困難な方の社会参加を促進し、また、介護者の日常介護活動を援助し、在宅福祉の増進を図るため、社協で所有する車いすの貸出しを行った。(61)</li> <li>・適宜、メンテナンスを行った。</li> </ul>					
指標名	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
車いすの貸出し	目標値	55件	55件	60件	60件	60件
	実績値	61件				
進捗状況及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協が所有する車いすの貸し出しを行った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種のための利用や市役所からの紹介等を受けて、問い合わせ件数が増加している。</li> </ul>					
	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 着実に進捗している</li> <li>B ある程度進捗している</li> <li>C 進捗が順調でない</li> </ul>				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期貸出し希望者(～3ヶ月)が増加傾向となっていて、貸し出せる在庫が少なくなることがあった。</li> <li>・市内で貸出しを実施しているのが市役所と社協のみのため、遠方の方には受取りが不便である。</li> </ul>
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けがをして車いすが必要になった、病院から退院する際に車いすを使いたい等、生活の中で短期的に車いすを必要とする人へ貸出しを行っていく。</li> <li>・貸し出しの要件や車いすの管理について、検討を行う。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

移動サービスの情報を地域の中で共有する。
----------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターを車いすの置き場として活用できれば、車イスが借用し易くなるのではないかと。</li> </ul>
--



## 第4期朝霞市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理・評価シート

第4期計画掲載内容	部局名		課名	地域福祉推進課	係名	
	基本目標	3 安心して暮らしやすい地域づくり				
	施策の方向性	(16)住まいの確保等への支援				
	事業名	①生活困窮者等への支援				
	事業の概要	住宅の確保が困難な人に対し、住居に関する必用経費の相談や課題の整理を行い、必要に応じて生活福祉資金貸付等の支援を行います。				

## 1 取り組み内容・成果・進捗状況

R3年度の取り組み内容	住宅の確保が困難な人に対し、住宅確保給付金の案内や公営住宅や無料低額宿泊所の情報提供等を行った。転居費等の住宅確保に必要な資金が不足する人には、家計の見直しや生活福祉資金貸付の案内を行った。(31)					
指標名	b	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
住宅に関する相談件数	目標値	15件	18件	18件	20件	20件
	実績値	31件				
進捗状況及び自己評価	住宅の確保が困難な人に対し、本人の状況をよく確認・傾聴して、生活福祉資金貸付が対象外であっても、本人にとって必要な情報が提供出来るような支援を行った。					
	A	A 着実に進捗している B ある程度進捗している C 進捗が順調でない				

## 2 課題・今後の取り組み方針

課題	生活困窮者等への支援について、制度による支援に該当しない場合がある。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な相談に対応出来るよう社会資源の情報収集に努める。</li> <li>相談窓口について周知して、相談したい時にすぐに相談できる体制を整える。</li> </ul>

## 3 協働事項(事業推進のために、市民や地域に協力してもらいたいこと)

協働事項	住居確保が困難な方がいたら、社協等の相談窓口を紹介する。
------	------------------------------

## 4 推進委員会の意見(評価)

意見(評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活困窮の方々のニーズが多いと感じる。まだまだたくさんのニーズがあるんだろうと思う。</li> <li>コロナ禍で住居確保給付金を利用し、家をなくさないですんだという方がたくさんいる。</li> </ul>
--------	--